

日本科学者会議宮崎支部事務局連絡先 : 〒889-2192 宮崎市学園木花台西 1-1
宮崎大学教育文化学部 野中善政 気付
電話/ファックス 0985-58-7511、電子メール miyazaki@jsa.gr.jp
郵便振替口座 02010-4-15455 加入者名 日本科学者会議宮崎支部

(第 25 回九州地区シンポジウム in 沖縄について)

《九州地区会議（8月5日）の概要》沖縄支部の提案に基づき討議しました。

[日程] 12月8(土)～9日(日)

1日目：全体テーマのもとに講演・報告・討論（約4時間予定）、夕方に懇親会。

2日目：（1部）大学情勢についての報告・討論、（2部）エクスカージョン

[開催場所] 那覇市（八汐荘＝那覇市松尾・モノレール県庁前駅徒歩5分）

[テーマ]

①「改憲・安保再編と基地問題」など：沖縄の基地問題を見つめ直し、改憲・安保再編の動きが生活に直結する問題であることを明らかにする。問題の背景をアメリカの戦略やグローバリゼーションの流れの中で考え、基地問題のほか、教育「改革」、労働法制「改編」、環境・食料・人権問題との関連を分析する。米軍再編特措法と環境破壊の関連を明らかにし、また食料安保問題を軍事的安保との関係で捉える。

②大学をめぐる情勢報告と討論：地区シンポの重要な意義の一つであることから、今回も引き続き、報告と問題提起を各支部に要請する。

《沖縄支部からのメール（9月21日）》

1日目のシンポについてはテーマ案を決めておりませんが、「安保再編・構造改革と、地域の課題」ということで多様な報告を持ちよって議論したいと考えています。その場合、各支部からどのような報告が可能でしょうか。ご検討下さい。また、ほかによりテーマ案や、報告したいことがおありでしたら、ぜひお知らせ下さい。

2日目のシンポについては、学長選考などいま攻撃にさらされている制度を中心に、現状分析と取り組みの方向について議論していったいかがかと考えていますが、いかがでしょうか。各支部から報告・交流したい大学問題での報告・切り口など、ご意見を下さい。

《福岡支部からのメール（10月1日）》

九州シンポ初日の報告者ですが、福岡からは梅木利巳先生（農政経済）が参加することになりました。梅木先生は JSA 食糧問題研究委員会のメンバーで、福岡ではエネルギー研究会に参加され、バイオエタノールの問題についても御研究されています。

《宮崎支部常任幹事会（9月4日、10月2日）の討議内容》

沖縄支部の提案のベースは「基地問題を見つめ直す」ことですが、大きくは「グローバリゼーション」に関連する多様なテーマの発表を持ち寄ってよいようです。

宮崎支部としては、①東国原知事のマニフェストと県行財政の現状分析、②法人化後の大学の状況、教職大学院の設立、学部改組と共通教育、学校教育法「改正」と大学の理念の変質、南九州大学の移転問題などが想定されます。これらの中のいくつかを話題とする例会もしくは懇談会における意見交換を通して報告を準備したい。「プレシンポ」を開催することもあり得ます。（文責野中）

－裏面は例会、懇談会、映画会の案内です－

(支部例会と懇談会の開催案内)

■支部例会

1. 例会名：「教育関連法の『改正』と大学：大学農場と文科省との対話から見えること」
2. 日時：10月23日（火）17:00～18:30
3. 場所：農学部附属フィールドセンター（農場）2階会議室（ミカンなどの試食あり?）
4. 話題提供者：西脇亜也（農学部附属フィールドセンター）

■懇談会

1. 例会名：教職大学院と教養教育を考える懇談会
2. 日時：11月9日（金） 16:30～18:00
3. 場所：工学部大会議室（工学部A棟2階）
4. 話題提供者：岩本俊孝先生（教育文化学部 教授）
5. 概要：

教職大学院が来春教育文化学部を設置されます。この教職大学院が、宮崎大学の教養教育(共通教育)の円滑な実施にどのように関連してくるのかを明確にすることは、今後の宮崎大学の教育の質的向上にとってきわめて重要となります。教職大学院設置と教養教育との関連において、何が決まり、何が未定となっているのか、また、教養教育の将来にどのような影響を与える可能性があるのか等について現時点での状況を理解するため、率直な意見交換を行いたいと思います。

(宮大祭で映画「日本の青空」を上映 11月17日)

1. 映画「日本の青空」の上映
2. 日時：11月17日（土）10:00～、14:00～（雨天時 9:30～、15:30～）
3. 場所：宮大木花キャンパス教育文化学部講義棟 L111 教室
4. 概要：宮崎大学で活動する学生サークル B.B.（正式名：平和への架け橋～Baghdad Bridge～代表：大谷さん）は、学園祭期間中の11月17日（土）、日本国憲法誕生の真相を明らかにした劇映画「日本の青空」を上映します。この映画は、GHQがお手本とした憲法草案を作成した、鈴木安蔵らの活躍をドラマ仕立てで描いたものです。憲法の制定に国民がどう関わったのかが良く分かるものとなっています。上映は1回目 10時、2回目 14時（雨天時は1回目 9時30分、2回目 15時30分）。開場はいずれも開演の30分前。**入場無料!** 問合せは大谷さん（as3508u@student.miyazaki-u.ac.jp）まで。